

補助金申請システムの開発状況及び 各省・自治体展開について

令和元年10月31日

内閣府規制改革推進室

総務省

経済産業省

中小企業庁

1. 補助金申請システム（Jグランツ）の開発状況等

1. 開発の状況

- 2020年4月からの経産省・各省庁・有志自治体での利用を目指し、引き続き、Jグランツを開発中。このため、**2019年度版システムについて、12月中旬を目途に公開予定。**
- 各省庁・自治体等において、**操作感や機能等を早期に確認出来るよう、11月中旬を目途に、関係者向けのテスト版を提供予定。**

2. 開発機能の優先順位付け

- 2019年度版システムの機能を下記のとおり分類。
 - ①**申請事業者・事務局双方にとって必須機能の開発**（例. 申請や通知等の基本的な手続等）
 - ②**申請事業者の利便性向上に係る開発**（例. 基本情報の自動転記、形式チェック等）
 - ③**事務局の利便性向上に係る開発**（例. 複数人受付対応等）

※その上で、①の必須機能、②の申請事業者の利便性向上を優先して開発。

その結果、③事務局向け利便性向上は、2020年度版システムの開発にずれ込む可能性有。

3. 問合せ窓口の立上げ

- システム導入に係る技術的な不安を払拭するため、**問合せ窓口を、公募が始まる前の2020年2月までに設置予定。**

2. Jグランツの各省展開に関する取組状況

- 本年9月以降、Jグランツを利用する補助金の範囲を拡大するため、補助金を所管する幅広い省庁（FS調査対象外も含む）に対し、2020年4月からのJグランツ導入に向けた検討を依頼。
- 10月18日（金）、Jグランツに関する「関係幹部打合せ」を開催し、2020年4月からのJグランツ導入について、議論。
（参考）参加省庁は以下のとおり。
 - ・FS調査対象：国土交通省 大臣官房会計課長、環境省 大臣官房審議官、厚生労働省 政策統括官
 - ・FS調査対象外：総務省 総括審議官、法務省 政策立案総括審議官、文部科学省 総括審議官、農林水産省 サイバーセキュリティ・情報化審議官
- 2020年3月末リリース版の機能を前提として、各省庁においては、以下の数の補助金について、2020年4月からのJグランツ導入を予定。
- 11月中旬を目途に提供される関係者向けのテスト版の操作等を踏まえて、最終決定を予定。

○2020年4月からのJグランツ導入を検討している補助金数

	当初予定（FS調査対象）		現状
経済産業省以外の 省庁が所管する補助金	12補助金 (3省庁)	➡	49補助金 ^(注) (7省庁)

(注) 現時点で前向きに検討中の補助金数であり、今後変動する可能性がある。

3. Jグランツの自治体展開に関する取組状況

- 自治体への展開については、FS調査に参加意向を示した30自治体（うち、モニター調査参加自治体数は23）のうち、前回のWG以降、19自治体へ改めて直接訪問し、働きかけを実施している。
- 引き続き、総務省と中小企業庁で連携して自治体への働きかけを行っていく。

○Jグランツの導入に際しての課題

- ・事業者による申請手続（ワンスオンリー）からの導入。
- ・システムの機能（検索、出力、外部審査、エラーチェック等）の充実。
- ・システム環境の整備や情報セキュリティの対応が必要。
- ・自治体の既存業務システムとの接続。
- ・補助金の申請件数が少ないので費用対効果の面で検討が必要。
- ・補助金申請システムの導入に際して、補助金交付要綱や文書管理規程などの見直しが必要。
- ・事業者のITリテラシーに差が大きいのでサポート対応が必要。